

問い合わせ先
第十管区海上保安本部
海洋情報部海洋調査課
海洋調査課長 深江 邦一
電話 099-250-9800 (内線 2530)

平成 17年 12月 22日

第十管区海上保安本部

測量船による海域火山調査の実施

海上保安庁では、本庁海洋情報部所属の測量船明洋 (船長大和義明他 23名乗組み) により薩摩硫黄島周辺海域 (鬼界カルデラ) において火山噴火予知のための基礎資料を整備するための調査を行ないます。

1 調査期間

平成 18年 1月 19日から平成 18年 2月 5日までの間

2 調査海域

別紙付図参照

3 調査船の概要

所属:海上保安庁海洋情報部

名称等 測量船 HL03 明洋 (めいよう)

総トン数 :550トン

主要寸法 (全長×幅×深さ) :60.0×10.5×5.0m

速力 :15ノット

4 調査内容

マルチビーム音響測深機を使用し精密海底地形調査を行ないます。

鬼界カルデラは鹿児島県南方の薩摩竹島と薩摩硫黄島を陸上のカルデラ北縁の一部とするカルデラで、そのほとんどが海没しています。これまで、カルデラ南東縁には2段の急崖があり、カルデラ内で2回の陥没が生じたと考えられること、また、内側の新期カルデラ内は、単一の大型火山ではなく、多数の小火山群からできていること等の特徴が明らかになっていました。

今回の調査で、より詳細な海底地形が明らかになることが期待されます。

5 その他

(1)本調査は、平成 17年度から着手し、初年度は海底地形の調査です。

次年度からは海底下の地層、地磁気等の地殻構造調査も行なわれる予定です。

(2)調査結果は、海底火山噴火予知のための基礎資料としてとりまとめ、インターネットホームページ等でも公開する予定です。

鬼界カルデラ調査海域付図

